

平成27年8月6日に栃木県芳賀郡市貝町から芳賀郡益子町にかけて発生した
突風について (気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月6日16時30分頃、芳賀郡市貝町大字市埴（おおあざいちはな）から芳賀郡益子町大字大沢（おおあざおおさわ）にかけて突風が発生し、住家のトタン屋根のはがれや樹木の幹折れ、倒木などの被害が発生しました。

このため8月7日、宇都宮地方気象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として市貝町及び益子町に派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・被害や痕跡は、断続的であるが面的に分布していた。
- ・被害から推定した風向は、ほぼ一定方向であった。
- ・突風は強雨やひょうを伴っていたという証言が複数あった。

(2) 強さ（藤田スケール）

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・住家のトタン屋根のはがれがあった。
- ・比較的風に弱い樹種の幹折れが複数あった。
- ・根の浅い樹木の倒木が複数あった。

※ この資料は、速報としてまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。